

令和 7 年 3 月 28 日

報道関係者各位

NPO 法人半田市観光協会

半田赤レンガ建物、NPO 法人半田市観光協会の運営へ

文化産業の創造拠点として、新たな挑戦がスタート

令和 7 年度より、半田市が設置する「半田赤レンガ建物」の指定管理者を半田市観光協会が務めることとなりました。私たちは、赤レンガ建物が持つ歴史的・文化的価値を大切にしながら、さらにこの施設の可能性を広げ、「文化産業創造拠点」としての新たな役割を築いていきます。



半田赤レンガ建物の運営方針

新たな運営にあたり、私たちは赤レンガ建物が持つ価値を最大限に引き出し、地域とともに発展していくことを目指します。そのために、次の 3 つの方針を掲げ、施設の運営に取り組んでいきます。

- ・ 半田赤レンガ建物の価値を高める
- ・ 地域との結びつきを強固にする
- ・ 地域への波及効果を高める

私たちの考える文化産業とは

文化産業とは、土地の文脈に根ざし、地域の人々とともに築き上げる、持続可能な文化と産業の融合体です。

- ・ 文化が産業を支え、産業が文化を支える関係をつくる
- ・ 産業の一環として文化を捉え、地域に根付いた価値を生み出す
- ・ 「文化を育てる」視点を持ち、次世代へ継承していく

単なる文化活動や商業活動ではなく、両者を一体としながら新しい価値を創出することが、私たちの目指す「文化産業」の在り方です。

半田赤レンガ建物では、この考えのもと、企画展・ショップ・カフェ・イベントが連携しながら、地域の魅力を発信する場をつくります。

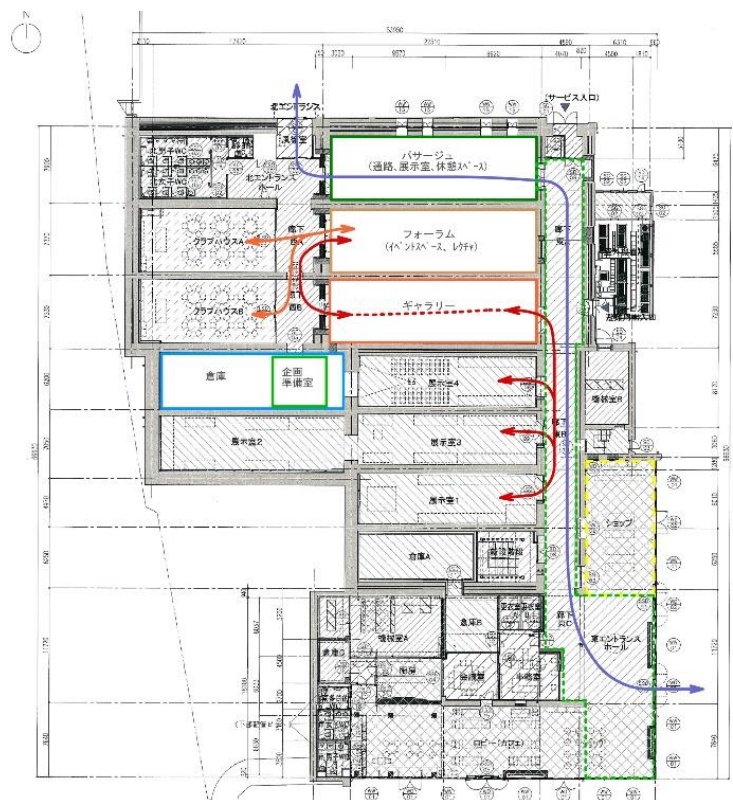
主な施策

1. ギャラリーの新設

- ・ 常設展示室のすぐ北側にある共用サロンを「ギャラリー」として活用。
- ・ 「歴史・建築・ものづくり・アート・発酵・食・地域」の7つの視点で企画展を実施し、場所の価値を再評価し、文化産業化を推進。

2. ショップの充実

- ・ 既存のショップを充実させると共に、企画展と連動した商品開発・ラインナップ強化



3. カフェの新たな展開

- ・ カブトビールを軸に、この地域の豊かな食資源を味わえるカフェへ
- ・ 食資源豊かな知多半島の食材を取り入れたメニュー展開
- ・ 週末は夜営業を実施し、ゆっくりとカブトビールを楽しめる空間を提供

4. イベントの連動開催

- ・ もっとも北側の部屋を「パサージュ」とすることで館内の回遊性を高める。
- ・ 企画展と連動したイベントを「パサージュ」や「芝生広場」で実施。
- ・ 施設内だけでなく、地域と連携した文化発信イベントを展開。

5. 市内回遊企画の促進

- ・ 企画展に連動し、市内各所を巡るプログラムを開発。
- ・ 赤レンガ建物を拠点とし、地域全体への波及効果を高める。

令和7年度 企画展スケジュール

ハントーフードハント展(4/25~7/13)

「食」を通して知多半島の文化と歴史を旅する、新しい体験型展示！

本展では、知多半島で受け継がれてきた食文化と、その背景にある風土や歴史にスポットを当て、五感で楽しむ展示空間を演出。

発酵食品や伝統食材を中心に、さまざまな食のストーリーを紹介しながら、食と文化の関係を探ります。

みどころ

1. 五感で楽しむ展示体験

- 見る・聞く・嗅ぐ・触る・味わう、食の世界を五感で体験できるインタラクティブな展示

2. 知多半島ならではの発酵文化

- 味噌や醤油、酒などの発酵食品を中心に、知多半島の独自の食文化を紹介



3. あしたの食卓を彩る、新しい発見

- 展示を通じて、これからの暮らしの中で「食」をどう楽しむか、新たな視点を提供

4. 6/28・29 ハントーフードハントマルシェ

- 時間: 10:00-18:00 (最終入場 17:30)
- 入場料: 500 円 (中学生以下無料)

その後の予定

- 新美南吉の言葉と風景展 (7/26～10/13)
- 地域の素材とディテール展 (10/25～1/12)

※詳しくは今後、ホームページ等でご確認ください

その他直近のイベント情報

- 4/11 上半田地区 山車入場
- 6/14・15 カブトビールフェスタ

営業時間(令和 7 年度より)

- 企画展: 9 時～18 時
- カフェ:
 - 日曜日～木曜日: 9 時～18 時 ※貸切予約の場合、夜間営業のご相談も可能です
 - 金曜日・土曜日: 9 時～21 時
- ショップ: 9 時～18 時
- 貸室利用: 9 時～22 時

オープンまでのスケジュール

- 4/1～4/10 休館(オープン準備)
- 4/11 オープン(貸室・ショップ・カフェ〈一部メニューを提供開始〉)
- 4/25 グランドオープン(企画展スタート・カフェフルオープン)

運営チーム紹介

半田赤レンガ建物の新たな挑戦を支える、中核メンバーをご紹介します。



館長:稲波伸行

窯業、醸造業、繊維業、自動車産業―。東海地方の地場産業を未来につなぐため、デザインの力で課題解決に挑む。名古屋市でデザイン会社を営み、企業や産業の在り方を設計する「広義のデザイン」を実践。



クリエイティブディレクター:市川大輔

architectural design market 代表、一級建築士。半田市出身。亀崎地区の空家再生プロジェクトや亀崎公園の再編、半田運河の社会実験「運河床」の設計、半田市創造連携実践センターココロリンのデザイン監修などを担当。地域に根ざした建築や居場所づくりを推進する。

お問い合わせ先

NPO 法人半田市観光協会(半田赤レンガ建物 指定管理者)

〒475-0856 愛知県半田市榎下町 8 番地

TEL:0569-32-3264(4/7 以降は 0569-24-7031) 担当:平野陽子

Email:info@handa-akarenga.jp HP:<https://handa-akarenga.com>